

2025年12月17日
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

～ 未来を担う高校生たちの熱意溢れる取り組みを表彰 ～
第14回イオン エコワングランプリ内閣総理大臣賞及び各賞の決定

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(所在地:千葉県千葉市美浜区、理事長:渡邊 博之、以下「当財団」)は高校生が、日ごろ学校で取り組んでいる環境保全活動を発表し、表現力や発信力を向上させることを目的に、「イオン エコワングランプリ」を2012年より開催しています。14回目となる本年も、高校生が学校のクラブ単位で取り組んでいる「エコ活動」をテーマに、2025年12月13日(土)、都内で最終審査会・表彰式を開催しました。

今年度は計110校から環境保全活動に関する取り組みが寄せられ、厳正なる一次・二次審査を通過した12校が最終審査会へ出場しました。参加各校は、活動内容やその成果、今後の展望について熱意のこもったプレゼンを行い、審査員からは、活動の独創性、継続性、そして社会への影響力など多角的な視点から質疑応答が交わされ、白熱した審査会となりました。

表彰式では、「普及・啓発部門」より内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・審査員特別賞、「研究・専門部門」より内閣総理大臣賞・環境大臣賞・イオンワンパーセントクラブ賞の受賞校へ、賞状と活動奨励金を授与しました。

記

<日時>

2025年12月13日(土)

<場所>

有明セントラルタワーホール&カンファレンス(東京都)

<参加者>

審査対象12校とその学校関係者

文部科学省	初等中等教育局教育課程課	専門官(併)教育課程第二係長	高市 和則 様
環境省	大臣官房総合政策課	環境教育推進室長(併)環境計画室長	黒部 一隆 様
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ	理事長		渡邊 廣之

<審査員長>

国立環境研究所 生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室 特命研究員 五箇 公一 様

<審査員>

国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問	末吉 竹二郎 様
キャスター、アナウンサー、京都産業大学 客員教授	吉川 美代子 様
JICA 緒方貞子平和開発研究所 地球環境領域 研究員	野口 扶美子 様

<主催/共催>

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ/株式会社毎日新聞社

<後援>

文部科学省/環境省

<募集部門と各賞>

普及・啓発部門

内閣総理大臣賞1校	賞状、副賞「活動奨励金」50万円
文部科学大臣賞1校	賞状、副賞「活動奨励金」40万円
審査員特別賞1校	賞状、副賞「活動奨励金」30万円

研究・専門部門

内閣総理大臣賞1校	賞状、副賞「活動奨励金」50万円
環境大臣賞1校	賞状、副賞「活動奨励金」40万円
イオンワンパーセントクラブ賞1校	賞状、副賞「活動奨励金」30万円

<受賞校>

普及・啓発部門

内閣総理大臣賞

群馬県立大泉高等学校(植物バイオ研究部・微生物バイオ研究部)
日本遺産「里沼」の保全活動 ～地域に愛される湿原を目指して～

文部科学大臣賞

熊本県立八代工業高等学校(工業化学科クレヨン班)
廃棄される植物を活用したクレヨン製作と環境教育

審査員特別賞

熊本県立八代農業高等学校泉分校(グリーンライフ科)
命と向き合う高校生の挑戦と痛み

研究・専門部門

内閣総理大臣賞

宮城県農業高等学校(AQUA HOPE)
深層元肥革命 ～装置開発で挑む肥料削減と環境保全～

環境大臣賞

長崎県立諫早農業高等学校(食品科学部)
環境保全のための放置竹林削減 ～竹粉を使った平茸菌床栽培～

イオンワンパーセントクラブ賞

広島県立西条農業高等学校(自然科学部)
フンも無駄にしない！養コオロギで循環型バイオエコノミーを構築



普及・啓発部門 内閣総理大臣賞
群馬県立大泉高等学校



研究・専門部門 内閣総理大臣賞
宮城県農業高等学校



表彰式参加者の記念撮影